



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月10日

上場会社名 天馬株式会社

上場取引所 東

コード番号 7958 URL <https://www.tenmacorp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣野 裕彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務・財務経理担当兼総務部長 (氏名) 則武 勝

TEL 03-3598-5515

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	73,751	22.7	1,744	46.7	2,527	61.6	1,611	108.9
2022年3月期第3四半期	60,084	12.1	1,189	30.3	1,564	12.7	771	9.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 10,525百万円 (284.0%) 2022年3月期第3四半期 2,741百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	73.06	
2022年3月期第3四半期	33.76	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	107,842	81,187	75.3	3,714.48
2022年3月期	93,984	73,197	77.9	3,299.10

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 81,187百万円 2022年3月期 73,197百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		40.00		42.00	82.00
2023年3月期		40.00			
2023年3月期(予想)				42.00	82.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	102,000	23.3	3,100	57.3	3,900	60.5	3,100	192.9	141.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	25,313,026 株	2022年3月期	25,313,026 株
2023年3月期3Q	3,456,049 株	2022年3月期	3,126,076 株
2023年3月期3Q	22,045,078 株	2022年3月期3Q	22,835,515 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

(注)役員向け株式交付信託が保有する当社株式が、期末自己株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結貸借対照表関係)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）における世界経済は、ウクライナ問題の長期化を主因とするインフレの加速、またインフレを抑制するための政策金利の引き上げ等を背景に減速傾向を強めております。また中国がゼロコロナ政策からウィズコロナ政策に実質的な方針転換を図る中、新型コロナウイルス感染症の再拡大も見られ、先行きの不透明感が拭えない状況です。

日本経済においては、インバウンドも含めたサービス需要の拡大に加え、企業の設備投資も増加が見込まれており、また半導体の需給改善による自動車生産の増加の余地もあり、経済全体の回復が期待できます。

このような状況の中、当社グループにおきましては、2021年5月に公表した「第3次中期経営計画」に基づき、中長期的な成長戦略の実現に向けた基盤構築を進めつつ、生産体制の維持・強化に努めてまいりました。

この結果、売上高は73,751百万円（前年同期比122.7%）となり、営業利益は1,744百万円（前年同期比146.7%）、経常利益は2,527百万円（前年同期比161.6%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,611百万円（前年同期比208.9%）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(日本)

インバウンドを含めたサービス需要に回復の兆しが見られるものの、物価高騰が続く中、消費財における消費回復の動きは依然として鈍く、ハウスイエ合成樹脂製品分野及び関連商品においては売上が減少しました。工業品合成樹脂製品分野においても、半導体不足等の解消に時間を要しており、売上は微増に止まっております。

利益面につきましては、ハウスイエ合成樹脂製品分野及び関連商品の売上減少に加え、原材料価格の高止まりや電力費の上昇等もあり、前年同期を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は15,124百万円（前年同期比96.7%）となり、セグメント損失（営業損失）は88百万円（前年同期はセグメント利益493百万円）となりました。

(中国)

ハウスイエ合成樹脂製品分野及び関連商品においては、コロナ禍の影響で物流も停滞し、売上が減少しました。一方、工業品合成樹脂製品分野においては、総じて取引先の生産活動が復調していること、また円安効果もあり、売上が大幅に増加しました。

利益面につきましては、日本と同様、ハウスイエ合成樹脂製品分野及び関連商品における原材料価格高騰の影響はあったものの、工業品合成樹脂製品分野における売上増加で吸収し、前年同期を大きく上回りました。

この結果、売上高は19,412百万円（前年同期比126.9%）となり、セグメント利益（営業利益）は1,075百万円（前年同期比143.5%）となりました。

(東南アジア)

電子部品等の供給不足が緩和され、生産活動が復調した取引先も多く、また中国と同様、円安効果もあり、タイ・ベトナム・インドネシアの3ヵ国全てで売上が増加しました。

利益面につきましては、売上増加に加え、コロナ禍における取引先での生産調整による当社工場稼働率の低下等、非効率な生産体制が概ね解消され、前年同期を大きく上回りました。

この結果、売上高は39,214百万円（前年同期比134.5%）となり、セグメント利益（営業利益）は1,674百万円（前年同期比206.9%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計期間年度末に比べて13,858百万円増加し、107,842百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が5,108百万円、現預金が4,102百万円、建物及び構築物が1,706百万円、それぞれ増加したこと等によります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計期間年度末に比べて5,868百万円増加し、26,655百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が3,254百万円、その他流動負債が1,624百万円、それぞれ増加したこと等によります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計期間年度末に比べて7,990百万円増加し、81,187百万円となりました。これは為替換算調整勘定が8,507百万円、控除項目である自己株式が721百万円、それぞれ増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「2023年3月期 通期業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,364,663	31,466,195
受取手形及び売掛金	17,104,604	22,212,512
商品及び製品	3,474,046	3,538,050
仕掛品	711,353	779,005
原材料及び貯蔵品	4,802,790	4,859,054
その他	1,700,291	2,171,834
貸倒引当金	△1,979	△1,108
流動資産合計	55,155,769	65,025,543
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,368,387	15,074,865
機械装置及び運搬具(純額)	8,585,269	9,242,641
使用権資産	3,153,764	3,525,890
その他	4,093,904	4,169,562
有形固定資産合計	29,201,324	32,012,958
無形固定資産	2,595,040	2,884,932
投資その他の資産		
投資有価証券	4,032,851	4,712,293
退職給付に係る資産	2,214,175	2,250,737
繰延税金資産	141,179	189,768
その他	650,950	773,887
貸倒引当金	△6,903	△7,827
投資その他の資産合計	7,032,253	7,918,857
固定資産合計	38,828,616	42,816,747
資産合計	93,984,385	107,842,290
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,478,595	12,733,069
未払法人税等	372,621	560,313
賞与引当金	826,783	970,138
租税関連費用引当金	128,895	24,786
関係会社整理損失引当金	6,844	—
事業整理損失引当金	—	48,600
その他	4,022,871	5,646,646
流動負債合計	14,836,609	19,983,552
固定負債		
長期末払金	22,531	13,632
役員株式給付引当金	62,118	74,750
退職給付に係る負債	318,787	394,716
リース債務	3,146,876	3,552,289
資産除去債務	522,367	657,635
繰延税金負債	1,812,871	1,913,135
事業構造改善引当金	65,254	65,254
固定負債合計	5,950,804	6,671,412
負債合計	20,787,413	26,654,964

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,225,350	19,225,350
資本剰余金	14,856,522	14,856,522
利益剰余金	39,596,800	39,392,844
自己株式	△5,591,856	△6,312,434
株主資本合計	68,086,815	67,162,282
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	996,970	1,501,960
為替換算調整勘定	3,328,466	11,835,221
退職給付に係る調整累計額	784,648	687,774
その他の包括利益累計額合計	5,110,083	14,024,955
非支配株主持分	74	89
純資産合計	73,196,972	81,187,326
負債純資産合計	93,984,385	107,842,290

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	60,083,846	73,750,591
売上原価	50,674,218	63,335,726
売上総利益	9,409,628	10,414,865
販売費及び一般管理費	8,220,787	8,670,400
営業利益	1,188,841	1,744,465
営業外収益		
受取利息	98,796	151,083
受取配当金	121,700	129,588
持分法による投資利益	16,814	43,860
為替差益	130,114	345,562
その他	104,645	224,317
営業外収益合計	472,070	894,410
営業外費用		
支払利息	86,760	92,166
その他	9,916	19,440
営業外費用合計	96,676	111,606
経常利益	1,564,235	2,527,268
特別利益		
固定資産売却益	24,732	26,610
受取和解金	—	105,000
事業構造改善引当金戻入額	709	—
租税関連費用引当金戻入額	—	124,632
特別利益合計	25,441	256,242
特別損失		
固定資産売却損	2,552	826
固定資産除却損	22,036	10,794
関係会社清算損	—	7,882
訴訟損失引当金繰入額	—	25,000
事業整理損失引当金繰入額	—	51,000
新型コロナウイルス感染症関連損失	83,011	119,208
関係会社株式評価損	37,566	—
特別損失合計	145,166	214,710
税金等調整前四半期純利益	1,444,510	2,568,800
法人税等	673,599	958,242
四半期純利益	770,911	1,610,558
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	770,908	1,610,556

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	770,911	1,610,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70,694	504,990
為替換算調整勘定	2,099,385	8,422,089
退職給付に係る調整額	△85,642	△96,874
持分法適用会社に対する持分相当額	27,221	84,680
その他の包括利益合計	1,970,270	8,914,885
四半期包括利益	2,741,181	10,525,443
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,741,174	10,525,428
非支配株主に係る四半期包括利益	7	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の購入)

2022年5月12日開催の取締役会において決議した、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の市場買付により、当第3四半期連結累計期間において、当社普通株式329,700株を総額720百万円にて取得し、自己株式が同額増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間末において、自己株式は6,312百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の拡大は、経済や企業活動に広範な影響を与える事象であり、新型コロナウイルス感染症の収束時期及び今後の当社グループに対する業績への影響を合理的に予測することは、現時点では困難な状況にあります。繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損に関する判断に関しては、現時点で入手可能な外部の情報源に基づき影響を分析・評価した結果、将来における当社グループ業績に与える影響は限定的であると仮定し、会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による影響は不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	15,641,715	15,294,344	29,147,787	60,083,846
セグメント間の内部売上高 又は振替高	67,197	192,823	95	260,115
計	15,708,912	15,487,167	29,147,882	60,343,961
セグメント利益	493,411	748,892	808,896	2,051,199

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,051,199
セグメント間取引消去	28,003
全社費用(注)	△890,361
四半期連結損益計算書の営業利益	1,188,841

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	15,124,438	19,411,919	39,214,234	73,750,591
セグメント間の内部売上高 又は振替高	62,569	316,075	12,396	391,040
計	15,187,007	19,727,994	39,226,629	74,141,631
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△88,227	1,074,901	1,673,654	2,660,328

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,660,328
セグメント間取引消去	2,762
全社費用(注)	△918,625
四半期連結損益計算書の営業利益	1,744,465

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	合成樹脂製品 関連事業	その他(注)	合計
日本	15,620,483	—	15,620,483
中国	15,294,344	—	15,294,344
東南アジア	29,147,787	—	29,147,787
顧客との契約から生じる収益	60,062,614	—	60,062,614
その他の収益	—	21,232	21,232
外部顧客への売上高	60,062,614	21,232	60,083,846

(注)「その他」は、不動産賃貸業であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	合成樹脂製品 関連事業	その他(注)	合計
日本	15,101,270	—	15,101,270
中国	19,411,919	—	19,411,919
東南アジア	39,214,234	—	39,214,234
顧客との契約から生じる収益	73,727,423	—	73,727,423
その他の収益	—	23,168	23,168
外部顧客への売上高	73,727,423	23,168	73,750,591

(注)「その他」は、不動産賃貸業であります。